

図書館

筒井633
☎98514140

松前町ふるさと
ライブラリー

7月の新刊

- ◆レイン(ランナー3) / あさの あつこ
 - ◆友罪/薬丸 岳
 - ◆箱館売ります 上・下/富樫 倫太郎
 - ◆薔薇とビスケット/桐衣 朝子
 - ◆家出しちやっつた/藤田 千津
 - ◆とうふちゃん/あだち とも
 - ◆からすのてんぷらやさん/かこ さとし
 - ◆からすのそばやさん/かこ さとし
- ※青少年読書感想文全国コンクールの課題図書もそろえています。ご利用ください。

おはなしかい

日時 7月27日(土) 11時
場所 文化センター2階
第2研修室

絵本や紙しばい、パネルシアターなどを使って毎回楽しいおはなしをします。皆さん、ぜひ来てみてください。

7月のふるさとライブラリー

○開館時間 9時30分～19時
○休館日 7月31日(日)

東公民館

神崎210
☎98411159

子ども囲碁教室

北伊予小学校児童を対象に本年度も「子ども囲碁教室」を実施しています。

5月11日(土)に開講式を行い、6人の1年生を含む17人の子どもたちがお父さん、お母さんと一緒に参加しました。式終了後、子どもたちは、早速講師の先生を取り囲んで、紙に書いてあるファミリー囲碁2を見ながら、先生に色々と質問して楽しそうに碁を打ちました。中には先生と1対1で碁の動かし方を学んでいる子どももいました。

囲碁は誰にでも覚えられる楽しいゲームです。教室は、平成26年3月8日(土)までの月1回、第2土曜日に実施していますので、興味のある子どもたち、一度見に来てみませんか？



軍神の血脈—楠正成秘伝—

高田 崇史著 / 講談社

南北朝時代から現代、そして東京の史跡と愛媛県を繋ぎ、楠正成にまつわる葬られた歴史の真実が、明らかとなる。



昨夜のカレー、明日のパン

木皿 泉著 / 河出書房新社

なにげない日々の中にちりばめられた、「コトバ」の力がじんわり心にしみてくる人気脚本家がはじめて綴った連作長編小説。



一般書

一般書

絵本

チョーシンくんのだいぼうけん

二見 正直作・絵 / 偕成社

「ぼくとけいのほりなんてやめて、ちがうものになるよ」そういつてある朝はるこちゃん家の時計を飛び出したチョーシンくん。外の世界で見つけたものはいったい何だったのでしょうか。



雑誌

東映ヒーローMAX

辰巳出版

TV、映画で活躍のヒーローたちの本。親子でお楽しみください。



西公民館

北黒田966-2
☎98415313

愛護部全体学習会

おはなしばい 心の母乳 心のきずな

5月15日、愛護部全体学習会を実施しました。今年も講師に「えひめ紙芝居おはなし会」の丸山康子先生を迎え、「親子で楽しもう おはなしの世界」と題して講演をいただきました。

講演では、▽絵本を開けると大人は字を読む。子どもは絵を読む▽親の生の声で読んであげることによって絆が深まる▽子どもが横を向いていても耳は聞こえている▽子どもと関わるのはいつときでしかないーなど、親子でお話を楽しむことの大切さを学びました。

続いて、「ふしぎなへや」を作ったり、素敵な紙芝居を見たりして「おはなしの世界」にすっかり引き込まれていました。読み聞かせのコツの紹介もあり、有意義な学習会となりました。



包括支援

筒井710-1
☎98514205

松前町地域包括
支援センター

高齢者と脱水

脱水とは、体内の水分と塩分が減少した状態のことをいいます。人は1日に食事や飲み物から2100ミリリットルの水分を取る必要があります。気温の上昇や発熱、下痢、嘔吐などの水分を失う条件が加わることで、高齢者は水分補給と排泄の収支バランスが崩れ、脱水になりやすくなります。

高齢者が脱水になりやすい理由

- ・体内の貯水能力が成人よりも10%低い
- ・脱水状態が短時間で回復しない
- ・むせやすいため、水分を摂りにくい

脱水の予防法

- ・飲み物を常備し、1日1.5リットルの水分補給
- ・体調不良や大量の発汗時は、水分と合わせて塩分も補給(イオン飲料)

高齢者は、喉の渇きを自覚しにくくなります。「喉が渴いていない。汗をかいていない」と言っても、水分補給を控えると、重大な脱水となります。意識して早めに水分補給を行い、また暑さがひどいときは、扇風機やエアコンを活用し熱中症を予防しましょう。

※心臓や腎臓に疾患があり、かかりつけ医から水分摂取量を制限されている場合は注意

北公民館

昌農内456-1
☎98417529

分館・愛護部
役員研修会

毎年恒例の「岡田校区分館・愛護部役員研修会」を開催しました。

今回は、えひめ地域づくり研究会代表運営委員の若松進一さんに、「地域づくりに新しい風」と題して講話をいただきました。風と言えば、春風・そよ風・薫風…と今の季節に感じたい風のいろいろ。でも、今だからこそ、あえて必要な新風に共感を覚えました。

地域に新風を吹かすのは、やるなら今でしょう。自分自身も北公民館で2回目の春を迎えました。「笑顔あふれる地域のお茶の間」を目指して、公民館事業の拡充に奮起しています。役員の方々が、地域の皆さま、共に新しい風を吹かせていきましょう。

